







～J R 吾妻線利用促進アクションプログラム～

⑤ 週1回、月1回からの鉄道利用

「週1回、月1回でも」と言われてもピンとこないかもしれませんが、みなさんの暮らしに鉄道利用を取り入れるメリットは色々なところにあります。

その一例を紹介しますので、お出かけの際は、まず、「鉄道が使えるか」を最初に考えてみましょう。そこからみなさんのアクションが始まります。

子供を最寄り駅までの送迎に・・・	飲み会のある日に・・・	出張時に・・・
<ul style="list-style-type: none"> ○送迎に取られる時間が減り、何かと忙しい朝々にゆとりが生まれます！ ○交通事故のリスクや渋滞に巻き込まれることが減り、安全で遅刻せずに通学できます！ ○友達とおしゃべりしながら楽しく通学できます！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩く距離が増えるので、おいしくお酒が飲めるかも！？ ○運転代行を頼んだり、ホテルに泊まったりの必要がなく、お財布にもやさしいです！ ○飲み会を切り上げる理由にも使えるかも！？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○渋滞などが原因で約束の時間に遅れることはありません！ ○自分で運転しない分、商談に力を入れられるかも！？ ○車内で資料を確認するなど、時間を有効に使えます！ 
駅近くの病院に・・・	買い物やイベントに・・・	県外への旅行に・・・
<ul style="list-style-type: none"> ○家族に送迎をお願いする心苦しさもなく、自分のペースで通院できます！ ○タクシー代の心配もありません！ ○車窓から見える沿線ののどかな風景が診察前の気持ちをリラックスさせてくれます！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場探しに時間をかけたりせずすみずみます！ ○同じ買い物先でも、いつもとは違う「旅行気分」に！？ ○渋滞のイライラからケンカになることもないかも！？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○高速道路の渋滞とは無縁です！ ○車出しや運転を押しつけられることもありません！ ○地域ならではの鉄道や駅弁など、旅行の楽しみが広がります！ 
<p>加えて、健康にも効果大！</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自動車だけでなく、鉄道などの公共交通を使って移動するほうが運動量が多くなるため、消費カロリーが大きくなります。 ◇例えば、通勤時に、公共交通を利用している人は、自動車だけを利用している人に比べて約2.5倍のカロリーを消費しているとの試算があり、この差はスポーツジムでの運動約40分に相当します。(出典：群馬県交通まちづくり戦略) ◇これが毎日のこととなれば、頑張らなくても、無意識のうちに運動し、健康になってしまいかもかもしれませんね！ 		

⑥ 5年経過後、鉄道の利用状況を調査します！

渋川市・吾妻郡にお住まいの方の「年間一度も鉄道を利用しない割合」が改善し、目標を達成できたかどうかを確認するため、あらためてみなさんに、鉄道の利用状況をお伺いする予定です。

吾妻線の将来のため、一緒に目標達成しましょう！

お問い合わせ先

群馬県県土整備部交通政策課 TEL：027-226-2385

＜詳細については、群馬県ホームページをご覧ください。→  ＞

どうなる？吾妻線。
どうする！私たち。

鉄道路線緊急対策
【概要版】J R 吾妻線利用促進アクションプログラム



このアクションプログラムは、平成30年3月に策定した「群馬県交通まちづくり戦略」に基づき、J R 吾妻線（J R 金島駅～J R 大前駅）をもっと利用していただくための取組を取りまとめたものです。



どうなる？吾妻線。 どうする！私たち。

～JR吾妻線利用促進アクションプログラム～

群馬県が調査したところ、本県はクルマに大きく依存しているため、鉄道の利用者がとても少ないこと、また、少子化の影響により、利用者はさらに減少する見込みであることがわかり、吾妻線の存続が心配されます。

そのため、吾妻線の利用状況やその役割を確認し、存続のための取組（アクション）を取りまとめました。

毎日の通学・通勤、ときどきの通院や買い物、そんな日常生活や、魅力ある渋川・吾妻地域への観光誘客に、これからも吾妻線が当たり前であり続けるため、私たちができること――

① 吾妻線はみなさんにとって身近な存在？

・ 渋川市・吾妻郡にお住まいの **7割近く**の方は **1年で1回も鉄道を利用していません**。【図1】

・ 吾妻線の1日あたりの乗車人員は、平成29年度で約3,000人。10年前と比べて **約20%も減少**。

・ 鉄道が利用できる所に自宅や会社があっても、吾妻線で通勤している方は **わずか3.1%**。
自動車通勤している方は **なんと96.0%**、**1日あたり約3,500人**。

このうち1人でも鉄道を利用してくれれば…
同じ条件でも、
通学目的では**77.0%**の方が吾妻線を利用しています。

自動車と駅が使いやすくなっていないことが原因の1つかも？

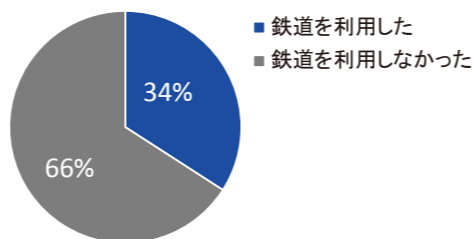


図1 ここ1年で外出時に鉄道を利用したかどうか (出典：パーソントリップ調査)

⇒ **クルマ社会に吾妻線は必要ない？ いえいえ、そんなことはありません！**

② 吾妻線は地域の暮らしを支えています

吾妻線にお世話になった経験、ありますよね？

・ 前橋市や高崎市など、**渋川・吾妻地域外**へ通勤・通学している多くの方を支えています。

・ 買い物、社交、レジャー、習い事、出張などでも、**地域外（県外含む）への貴重な交通手段**となっています。【図2】

・ **特に65歳以上**の多くの方には、週1回や月1回といった定期的な**通院**の際の**大切な交通手段**にもなっています。【図3】

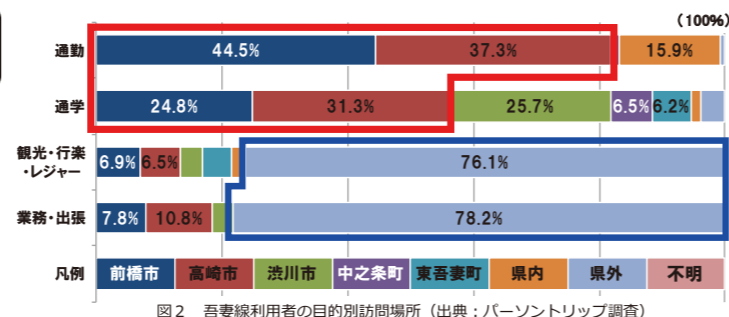


図2 吾妻線利用者の目的別訪問場所 (出典：パーソントリップ調査)

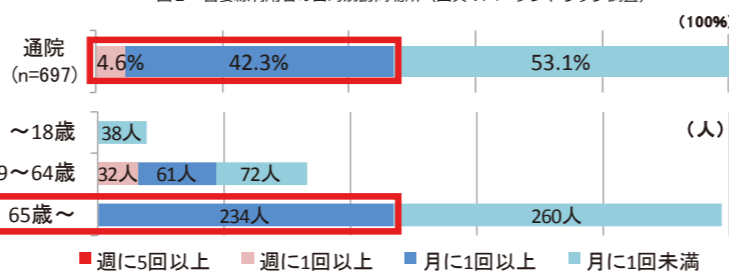


図3 通院での吾妻線の利用頻度 (上段) と年齢別利用者数 (下段) (出典：パーソントリップ調査)

⇒ **吾妻線は、みなさんがお住まいの地域で安心・豊かに暮らし続けるために、渋川・吾妻地域と他の地域をつなげています。**

③ でも、このままでは廃線も？

・ これまでの利用と変わらなければ、少子化の影響により、利用者は、**20年後にはさらに約32%も減少**。鉄道会社が、**吾妻線を維持できなくなってしまう**ことも考えられます。【図4】

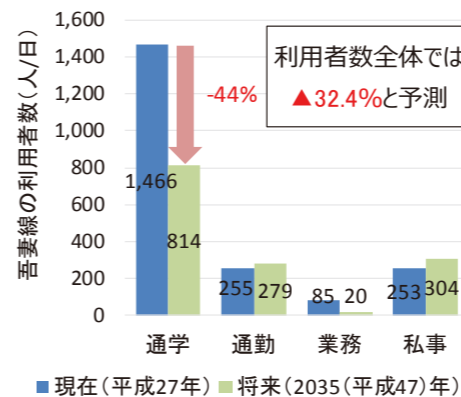


図4 利用者数の将来推計 (出典：パーソントリップ調査)

そうなること…

お子さんが自宅から通学できない？
家族の送迎なしで通院できない？
遠方への旅行も全て自動車で？
観光客が来なくなる？

吾妻線のない暮らしや、
鉄道のない地域が想像できますか？

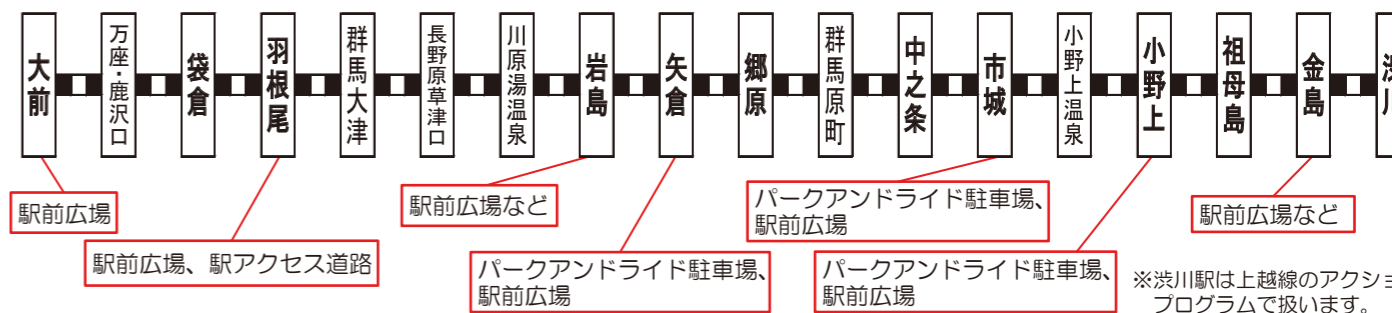
⇒ **そうなる前に何とかしなければ！**

④ 渋川・吾妻地域で暮らし続けるためのアクション！

～行政が駅を整備し、みなさんが鉄道を利用、鉄道会社が運行を確保～

<行政のアクション>

・ もっと鉄道を利用していただけるよう、「駅で車から鉄道に乗り換えるための駐車場（パークアンドライド駐車場）」など、**自動車と鉄道を使いやすくなる**ための環境整備を今後5年間で順次進めていきます。



<目標> 年間一度も鉄道を利用しない割合を改善します
66% ⇒ 5年後に56%へ

<みなさんのアクション>

・ 利用しやすくなった駅や鉄道を **どんどん使ってください！**
週1回、月1回でもいいのです。

<鉄道会社のアクション>

・ 安全運行を第一に、
利用者の信頼確保に努めます。

⇒ **吾妻線の将来のため、一緒に行動していきましょう！**